

〔薬局調剤〕

8 調剤行為の状況

薬局調剤の1件当たり点数は1,179.7点で、前年に比べ104.8点、9.7%増加している。

受付1回当たり点数は996.9点で、前年に比べ107.1点、12.0%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」750.2点(構成割合75.3%)が最も高く、次いで「調剤技術料」196.0点(同19.7%)となっている。

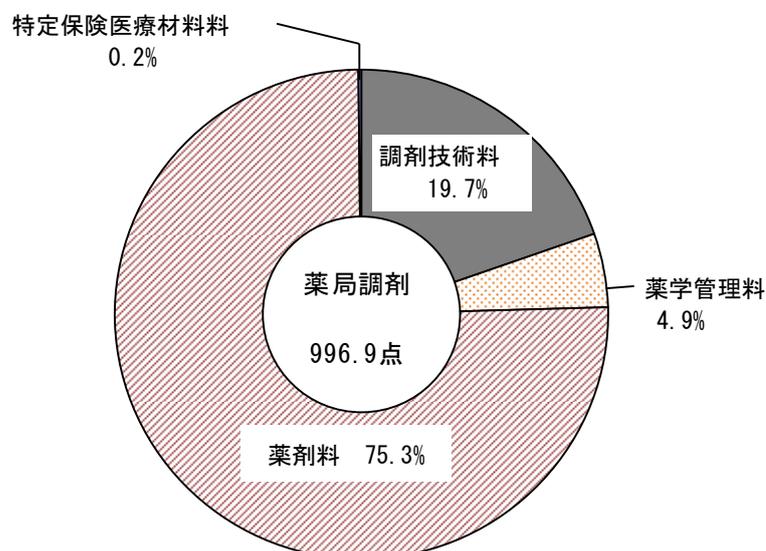
1件当たり受付回数は1.18回で、前年に比べ0.02回減少している。(表10、図11)

表10 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調 剤 行 為	令和2年 (2020)	令和元年 (2019)	対 前 年	
			増減点数	増減率(%)
1 件 当 た り 点 数				
総 数	1 179.7	1 075.0	104.8	9.7
調 剤 技 術 料	231.9	222.5	9.4	4.2
薬 学 管 理 料	57.5	57.7	△ 0.2	△ 0.3
薬 剤 料	887.8	792.7	95.1	12.0
特定保険医療材料料	2.4	1.9	0.5	26.1
受 付 1 回 当 た り 点 数				
総 数	996.9	889.8	107.1	12.0
調 剤 技 術 料	196.0	184.2	11.8	6.4
薬 学 管 理 料	48.6	47.7	0.8	1.8
薬 剤 料	750.2	656.2	94.0	14.3
特定保険医療材料料	2.0	1.6	0.5	28.7
1 件 当 た り 受 付 回 数				
	1.18	1.21	△ 0.02	

図11 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合

(令和2年6月審査分)



9 一般医療 - 後期医療・年齢階級別にみた調剤行為の状況

薬局調剤の1件当たり点数は、一般医療1,070.4点、後期医療1,406.3点となっている。

受付1回当たり点数は、一般医療926.8点、後期医療1,131.9点となっている。年齢階級別にみると、階級が高くなるにつれて受付1回当たり点数が高くなっている。

1件当たり受付回数は、一般医療1.15回、後期医療1.24回となっている。(表11、図12)

表11 一般医療 - 後期医療・年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(令和2年6月審査分)

調剤行為	一般医療	後期医療	年齢階級				
			0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 070.4	1 406.3	666.1	911.5	1 143.6	1 249.7	1 390.5
調剤技術料	208.1	281.3	183.8	190.2	213.0	224.4	280.0
薬学管理料	58.3	55.9	65.1	61.0	57.6	55.3	55.7
薬剤料	801.6	1 066.3	416.5	659.1	870.0	966.5	1 052.2
特定保険医療材料料	2.4	2.4	0.7	1.2	2.9	3.4	2.2
受 付 1 回 当 た り 点 数							
総数	926.8	1 131.9	558.8	784.5	993.8	1 085.9	1 122.9
調剤技術料	180.2	226.4	154.2	163.7	185.1	195.0	226.2
薬学管理料	50.5	45.0	54.6	52.5	50.0	48.0	45.0
薬剤料	694.0	858.3	349.4	567.3	756.0	839.8	849.7
特定保険医療材料料	2.1	2.0	0.6	1.0	2.5	2.9	1.8
1 件 当 た り 受 付 回 数							
	1.15	1.24	1.19	1.16	1.15	1.15	1.24

図12 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数

(令和2年6月審査分)

